

駅舎や旅行の窓口、ケイミューの外装材。

鉄道施設を数多く手がけられているJR九州コンサルタンツ株式会社様に、設計のポイントやご採用いただいた外装材について伺いました。

2019年5月初掲載

駅舎 [鹿児島県]

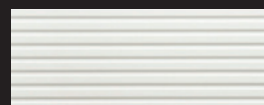
JR加治木駅(エレベーター棟)

構造：鉄骨造



建築設計部
三好 剛広 氏

外装材



金属サイディングはる・一番
スマートスバン柄 コモンホワイト

青空に映えるシンメトリーの白い棟。

加治木駅のバリアフリー化の一環として増築されたエレベーター棟。その外壁には、駅構内での作業を考慮して人力で運べる軽い素材が求められていました。そして同じ様な施設での実績がある金属サイディングに絞り込み、いくつかある候補の中から「はる・一番」を採用されました。特に深い彫りから生まれる陰影の印象がよかったのとのこと。



駅舎 [佐賀県]

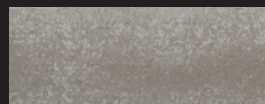
JR佐賀駅(旅行の窓口)

建築設計部
才田 裕史 氏



建築設計部
坂本 明文 氏

内装材



SOLIDO typeF coffee

忙しく行き交う空間にひとときの“癒やし”を。

お客様がくつろいだ雰囲気、切符や旅行の相談していただける空間がコンセプト。設計当初は天然木などを考えられていましたが、コスト面とメンテナンス面を考慮。新たな素材探しの中で「SOLIDO」を知り、パターンにとらわれない自然素材のような意匠性を気にいられたそうです。旅行の窓口で採用するのは初めてのことで心配もありましたが、「狙い通りの仕上がり、満足している」とのお言葉をいただきました。



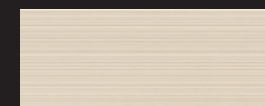
駅舎 [熊本県]

JR八代駅

構造：鉄骨造

建築設計部
三好 剛広 氏

外壁材



ネオロック・光セラ16
シュト랄
QFアッシュ チタン ベージュ

城下町に調和する、和風テイストの駅舎。

築100年を越え、地元の人に愛され続けた八代駅。老朽化による建て替えを進めるにあたって大切にしたのは、旧駅舎の面影と城下町にふさわしい和風のデザインでした。新駅舎は黒を基調とした切妻屋根に、しっくいイメージの外壁を考えられていたところ、展示会で出会った「シュト랄」の刷毛引きのような意匠性をひと目で気にいられました。また鉄道施設はメンテナンスフリーが基本。光セラのセルフクリーニング機能もご採用のポイントとなられたそうです。



駅舎 [宮崎県]

JR大堂津駅

構造：木造



建築設計部
岡田 嘉寛 氏

外壁材



SOLIDO typeM_LAP
鉄黒

地元名産の^{おびすぎ}飴肥杉とSOLIDOのコラボレーション。

JR日南線の大堂津に建てられた無人駅舎。同線を走る観光列車の撮影スポットにもなっている細田川橋梁にちなみ、typeM_LAP鉄黒の外壁を橋脚に、屋根を受ける垂木を枕木に見立てた外観となっています。また、展示会で目にした「SOLIDO」のランダムな風合いが、地元名産の飴肥杉と相性が良いことを見だし、採用が決められました。

● 設計者様の意図によりSOLIDOを傾斜壁として使用されています。

